

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	少年育成センター
	施策	子どもの安全確保		電話番号	087-839-2635
	基本事業	子どもの安全対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	子どもの安全確保活動事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	防犯の専門家である警察官OBをスクールガード・リーダーとして委嘱し、市立小学校等に派遣し、児童等の登下校時の安全体制を確立するとともに、少年育成センターに寄せられた不審者情報を各関係機関・団体等へメール配信を行い、情報の共有化を推進する。				
5年度概要	市立小学校等へ4名のスクールガードリーダーを派遣し、児童生徒の登下校時の安全体制の確立を図る。少年育成センターに寄せられた不審者情報を各関係機関・団体等へ不審者情報メール配信を行うとともに、市の公式ホームページにも不審者情報を掲載し、より多くの市民への不審者情報に係る危機意識の高揚と被害防止に努める。また、地域の健全育成団体等の総会などに合わせて、青少年の健全育成に係る現状や防犯意識向上に関する講話を行っていく。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

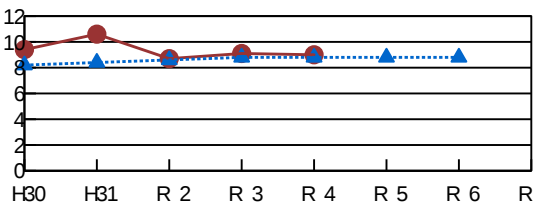
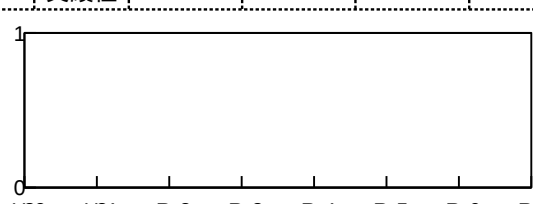
【事業の目的】

対象（何を）	小学校の児童・生徒及び各関係機関・団体等
意図（どのような状態にしたいか）	スクールガード・リーダーによる定期的な巡回、指導、講話の実施及びメール配信先の拡大により、児童等を事故や犯罪から守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
スクールガード・リーダー派遣回数	回	842	828	828	828	831

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	件	目標値	8.6	8.8	8.8	8.8	8.6
			実績値	8.7	9.1	9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 保護者説明会や関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)	 (達成度) 102.3% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	 (達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	11,760	11,810	11,786	11,826
（事業費）	〔円〕	4,278	4,260	4,302	4,342
（職員人件費）	〔円〕	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
スクールガード・リーダー事業については、昨年度、小学校等に、828回派遣し、これまでの経緯や学校の希望を踏まえると、継続して実施する必要がある。また、メール配信事業については、配信先の拡充を進めるとともに、平成29年度からホームページへの不審者情報の掲載を始めたが、今後も、更に、安全体制を充実していかなければならないと考える。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
スクールガード・リーダー事業については、学校等の希望を聞きながら継続していく。不審者情報のメール配信、ホームページでの掲載を続けるとともに、引き続き、メール配信先の拡充を行う。また、速やかにメール配信できるように迅速な対応に努める。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	子どもの安全確保		電話番号	087-839-2616
	基本事業	子どもの安全対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校安全対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもたちを、事件や事故、犯罪から守るため、児童生徒に関する相談に応じる児童生徒相談体制の充実、安全教育の推進、職員の巡回強化、下校時の巡回強化により、子どもの安全対策を推進する。				
5年度概要	児童に関する相談に応じる児童相談体制の充実、安全教育の推進、職員の巡回強化、下校時の巡回強化				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

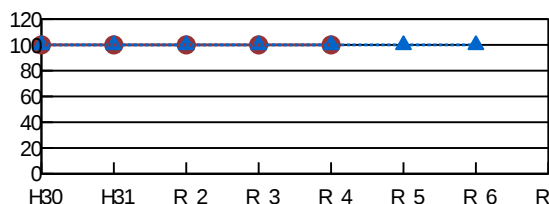
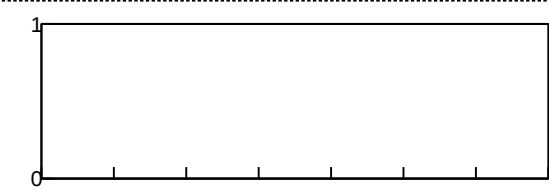
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	子どもたちを、事件や事故、犯罪から守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
職員巡回回数	回	35	35	35	35	35

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	学校安全対策事業実施割合		%	目標値	100	100	100	100	100	
				実績値	100	100	100			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談体制の充実、安全教育の推進、下校時の巡回強化などの安全対策の推進について成果が見られ、十分に目標は達成できた。 (目標達成度)									(達成度) 100.0% 35点
										
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
				目標値						
				実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)									(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	7,482	7,550	7,484	7,484
（事業費）	〔円〕				
（職員人件費）	〔円〕	7,482	7,550	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
児童に関する相談に応じる児童相談体制の充実、安全教育の推進、職員の巡回強化、下校時の巡回強化を図る。			